

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム

第7期(2012-2013年度)総会

開催日時 2012年10月24日(水) 10:00~11:30
開催場所 海運クラブ 3階 303会議室

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム(DAAS)

第7期(2012-2013年度)総会次第

開催日時:2012年10月24日(水) 10:00~11:30

開催場所:海運クラブ 3階 303会議室

1 開会挨拶

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム 理事長 鈴木博之

2 来賓挨拶

国土交通省

3 議 事

議案1 第6期(2011-2012年度)事業報告(案)及び収支決算(案)について

資料1 第6期(2011-2012年度)事業報告(案)

資料2 第6期(2011-2012年度)収支決算(案)

監査報告

資料 監査報告書

議案2 第7期(2012-2013年度)事業計画(案)及び収支予算(案)について

資料 第7期(2012-2013年度)事業計画(案)

資料 第7期(2012-2013年度)収支予算(案)

議案3 理事・監事選任の件

資料 第7期・第8期 理事・監事名簿(案)

4 報 告

資料 会員名簿変更について

資料 規約第7条第4項に基づく指定代表者の変更について

5 閉 会

議案1 第6期(2011-2012年度)事業報告(案)
及び収支決算(案)について

資料1 第6期(2011-2012年度)事業報告(案)

資料2 第6期(2011-2012年度)収支決算(案)

監査報告

資料3 監査報告書

第 6 期（2011-2012 年度）事業報告（案）

設立から 5 年間の「資料収集・拡充・基盤構築」という目標から「資料・Webの活用、資料の流動化」に軸足を移す初年度の第6期は、「次世代DAAS」のビジョン構築を行う「思案期」として、新規事業展開の議論と、他団体・他アーカイブへのヒアリングを重ねる期となった。

また、第 6 期より、公益財団法人 東京都中小企業振興公社が運営する社会起業支援施設に作業所を設置し、経営基盤の強化や経営革新に関するセミナー等の間接的な支援や、インキュベーションマネージャーによる直接的な支援（事業相談・経営支援）の体制が整備されることとなり、新規事業展開を図る上で望ましい環境でのスタートとなった。同施設ではオープンイベントも頻繁に行われるため、建築業界以外の方への広報の機会も増え、各業界で歴史保存、資料保存などのアーカイブが必要とされている状況が見えてきた。

Web サーバについては、設立当時より慶應義塾大学に保守・管理を依頼していた機器類の老朽化と震災後の節電によるサーバトラブルが多発したことを機に、昨年度末、Web サーバ上のデータを一部レンタルサーバに移行し、高いセキュリティ管理が必要となるオリジナルの画像データを、複数箇所にてバックアップし、遠隔地保管サービスも併用するなどの新期体制を整備した。

会員へのサービスを検討するため、DAAS-Web サイトに新たに意見集約のページを設置。第 7 期より具体的な意見集約を行う。モバイルサイトもオープンし、実際の建物を訪れる際のガイドとしての活用が期待される。当初より予定していた投稿型 Web サイトについては、DAAS-Web サイト以外に、他で運営を行っていた資料投稿型サイトを DAAS で引き継ぐ為の調整を進めている。また期末には、他の団体との連携による受託業務を検討しており、第 7 期の新事業展開に向けての準備を整えている。

1. 事業報告

(1) コンテンツの整備

先期までの表彰事業の対象であった写真資料のうち、デジタル化が未完了であった新建築社撮影分の資料が追加納品となり、メタデータの作成と Web サイトへのアップロード作業を継続している。また先期末のサーバトラブルにより滞っていた表彰事業の確認作業も行った。

表彰事業に於いて資料提供を受けた白井晟一建築研究所より、今後のデジタルデータ化作業についての問い合わせがあったため、同社を訪問し、永続的に資料のデジタルデータ化を行うことを伝え、同社で保有する資料のデジタルデータ化の可能性についてヒアリングを行った。既にデジタル化や書籍化をしている書類等も多く、今後デジタル化をする機会としては、展覧会の実施時の協力や、取り壊し等の危機にある建物の周知の為に Web サイトでの紹介を行うことも考えられ、資料保全が建築保全に繋がる活動として賛同を頂いた。白井晟一

氏の全作品リストと現況についてはテキストデータとして収録済みである。

① 動画収録

動画コンテンツは、ワーキンググループでの調整が進まず、本期は未収録となった。建築家インタビュー、イベント収録等の動画コンテンツは閲覧数の多いコンテンツであるが、会員登録をしなければ閲覧できないため、閲覧者拡大の機会を逃していることが懸念されている。その為、これまでのコンテンツの縮小版を youtube 等に掲載し、閲覧者の拡大を図るよう事務局にて編集作業を開始した。

これまでビデオ制作会社に外注をし、収録を行ってきた動画制作であるが、費用がかかる上に、調整や編集に時間を要し収録がすすまないこともあり、動画コンテンツの内容によっては、事務局で簡易撮影できる体制などを整備し始めている。また、学生参加による動画制作について大学関係者との打合せを進めている。

② 収録作品の解説等の掲載

研究者へ資料の解説文、エッセイを依頼した。第7期掲載を予定している。

③ 第5回デジタル卒業設計大賞の実施。

卒業設計大賞の募集期間に、サーバトラブルで Web サイトを長く閉鎖していたため今期は未実施。

④ オープンアライアンス活動

今期は資料収録等の具体的な活動には至らなかったが、デジタル化、物理保全の連携として、受託事業への協働参画を呼びかけ打合せを行っている。

⑤ モバイルサイト化

PC 閲覧用の DAAS-Web サイト画面では現在のモバイルツールの操作がしにくいため、モバイルツール用のサイトを制作。ボタンを簡素化、タップなどの操作がしやすい画面となっている。また、キーワードごとのボタンの設定も管理者側で簡便に行えるため、美術館の展示やイベントに合わせたキーワード、最新ニュースで取り上げられた建築名等、キーワードを設定することが可能となった。PC 用サイトと同様に地図による位置情報の検索も可能なため、建築を実際に訪れる際のガイド的活用が期待される。

(2) Web サイトの改善

会員ページ、委員会ページ、アンケートページを制作。

また DAAS-Web サイト以外に、UIA10000 人世界建築家展のサイトの運営につい

て、JIA 会長芦原太郎氏との打合せを行い、今後、DAAS で運営を行う方向で話が進んでいる。これにより、DAAS が当初機能追加を予定していた「投稿型」＝「ポートフォリオ機能」をもつ Web サイトの運営が実現する。DAAS-Web サイトの資料と関連づけを行い双方からの資料検索を行えるようそれぞれのサイトに機能を追加する予定である。

(3) 事務局体制の整備

社会起業支援施設の支援担当者との定期的な打合せが行われ、収入・非収入事業の検討と、短期・中期・長期的成果の整理なども行い、収益事業の具体化にむけた支援体制が確立された。

(4) 会員向けサービスの強化、事業費の確保

会員ページやアンケートページを制作し、会員からの意見を集約する機能を Web サイトに追加した。今後本ページより意見集約を行い、運営方針に反映させる予定である。併せて SNS での情報発信の準備も進めている。

新規に運営する「一万人の世界建築家展」のサイトは、建築家のポートフォリオとして建築家自ら資料掲載が可能となる。このサイトの運営にあたり、個人会員、登録制のサイトとしての運営など、収益につながる事業展開や、本サイトの資料を利用した建築ガイドの電子書籍の制作などを検討している。

データの有償利用については、森美術館、乃村工藝社、Harvard Design Magazine 等、国内外からのべ 7 社 18 点の利用申込みをうけた。

(5) DAAS の広報・実空間展示等の企画立案

社会起業支援施設の企画展示やセミナーでのプレゼンテーション、ポスター展示を実施した。

(6) サーバ管理体制の変更について

昨年 3 月の震災と節電時のシャットダウンにより復旧が難しいサーバ不具合が発生し、これまで保守・管理を依頼していた慶應大学から、メンテナンスが容易なレンタルサーバに Web サーバのデータを一部移行。新規サーバの導入も併せて行った。新体制での Web サイトオープンは昨年 12 月 20 日。

これによりサーバ保守費の予算 180 万はサーバ機器購入費用に充当され、第 6 期以降の保守費支出については、大幅に縮小されることとなった。

(7) その他

JIA アーカイブ委員会会長の仙田満氏に同委員会の現状についてヒアリングを行った。委員会の事業化も検討しているとのことで、今後資料のデジタル化、電子書籍化等において、DAAS の協力が可能であることを伝えた。

第6期(2011-2012年度)予算執行状況

2011年10月1日から2012年9月30日まで

科目	予算額(a)	執行額(b)	差異(a-b)
I 事業活動収支の部			
事業活動収入			
1 会費・入金会収入	9,290,000	7,850,000	1,440,000
企業会員	7,260,000	5,820,000	1,440,000
団体会員	2,000,000	2,000,000	0
学術・教育機関会員	30,000	30,000	0
個人会員	0	0	0
2 事業収入	50,000	135,000	△ 85,000
記録作成業務受託収入	0	0	0
コンテンツ有償利用料	50,000	135,000	△ 85,000
3 その他収入	0	510,269	△ 510,269
受取利息	0	10,269	△ 10,269
社会的企業育成支援事業起業支援金	0	500,000	△ 500,000
雑収入	0	0	0
事業活動収入 計	9,340,000	8,495,269	844,731
事業活動支出			
1 事業費支出	6,800,000	3,712,082	3,087,918
WEBサイト改修委託支出	1,500,000	1,607,817	△ 107,817
イベント事業支出	1,000,000	95,975	904,025
コンテンツ整備事業支出	1,000,000	1,255,984	△ 255,984
サーバ管理委託費	1,500,000	32,760	1,467,240
記録作成事業	0	0	0
社会的企業育成支援事業起業支援金支出	0	521,201	△ 521,201
保守費支出	1,800,000	198,345	1,601,655
2 管理費支出	5,560,000	3,397,470	2,162,530
事務所経費	350,000	258,580	91,420
人件費	4,100,000	2,256,286	1,843,714
旅費交通費支出	350,000	65,150	284,850
機材費支出	150,000	88,743	61,257
通信運搬費支出	100,000	328,635	△ 228,635
渉外費支出	100,000	1,500	98,500
会議費(含総会)支出	100,000	155,876	△ 55,876
租税公課支出	50,000	4,000	46,000
会計士外部委託費支出	160,000	0	160,000
雑費支出	100,000	238,700	△ 138,700
事業活動収支 計	12,360,000	7,109,552	5,250,448
事業活動収支差額	△ 3,020,000	1,385,717	△ 4,405,717
II 投資活動収支の部			
投資活動収入			
修繕引当預金取崩収入	1,800,000	0	1,800,000
その他固定資産取得収入	0	480,000	△ 480,000
投資活動収入 計	1,800,000	480,000	1,320,000
投資活動支出			
修繕引当預金取得支出	1,800,000	0	1,800,000
その他固定資産取得支出	0	0	0
投資活動支出 計	1,800,000	0	1,800,000
投資活動収支差額	0	480,000	△ 480,000
III 財務活動収支の部			
財務活動収支差額			
	0	0	0
IV 予備費支出			
予備費支出	450,039	0	450,039
当期収支差額	△ 3,470,039	1,385,717	△ 4,855,756
前期繰越収支差額	3,470,039	3,470,039	0
次期繰越収支差額	0	4,855,756	△ 4,855,756

監 査 報 告 書

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム規約第 15 条第 4 項の規定に基づき、建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアムの第 6 期(2011-2012 年度)(2011 年 10 月 1 日から 2012 年 9 月 30 日まで)の業務報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録について監査を行った結果、正確かつ適正であることを認めます

年 月 日

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム監事

公益社団法人 日本建築士会連合会 会長

三井所 清典 印

年 月 日

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム監事

財団法人 建築技術教育普及センター 理事長

浅野 宏 印

議案2 第7期(2012-2013年度)事業計画(案)
及び収支予算(案)について

資料4 第7期(2012-2013年度)事業計画(案)

資料5 第7期(2012-2013年度)収支予算(案)

第 7 期（2012-2013 年度）事業計画（案）

1. 基本方針

「デジタルデータに特化したアーカイブ」としての実績と、Web の検索システムを活かした事業の企画提案を先期にひきつづき建築業界や業界以外にも行っていく。

DAAS-Web サイト本体の機能改善は継続して行い、新規に運営する資料投稿型サイト「一万人の世界建築家展」の資料との相互の関連づけ機能なども付加する。

コンテンツ制作については、大学などの教育機関のプログラムと連携し、これまでとは違う方法での実施も検討する。

広報については、DAAS の活動だけでなくアーカイブ活動の普及・周知のための広報や講演会の企画を行う。

アーカイブ活動全体での DAAS の役割を見据えながら、アーカイブが課題としている、継続的な資料保全を行うための相互協力、各団体の特性を活かした棲み分け、資料の利活用、人材の確保、職能確立等の問題を統合的に解決し、資料保全活動全体が向上する方法を検討していきたい。

2. 事業計画

(1) コンテンツの整備

① 動画収録

第 5 期に計画した写真家、評論家の動画収録を実施する。広報活動、講演会企画などを行い、その収録と Web サイト上での公開を行う。ビデオ制作については、ビデオ制作会社への外注、DAAS 事務局での簡易撮影や編集の他に、大学の教育プログラムとしての学生による映像制作など、複数の方法を検討する。

② 収蔵作品の解説等の掲載

DAAS で収蔵する資料についての解説コラムや、動画、音声コンテンツなど、収蔵作品と関連づけをしたコンテンツ制作を検討し、必要であれば外部への依頼を行う。

③ 学生コンペ企画の実施。

第 5 期まで行ってきた卒業設計大賞や、その他すでにある学生コンペ企画やイベント（例：トウキョウ建築コレクション、等）への協力、もしくは、設計だけでなく「アーカイブ」をキーワードとした新規コンペ企画案を検討し実施する。

④ オープンアライアンス活動

これまでのアライアンスの実績を他のアーカイブや資料保有者に示し、活動の協力と連携を広く呼びかける。現在 DAAS の収録にはない、スケッチや技術・設備等

の資料を保有する関係機関との連携も検討する。

⑤ モバイルサイト

「モバイル」の特性を活かし、街歩きなどに利用しやすいコンテンツを企画、制作する。

(2) Web サイトの改善

データベースに保存されているものの非公開となっている資料の公開了承作業や文字情報の整備などを継続して実施する。また、新規に運営する「一万人の世界建築家展」の資料と DAAS-Web サイトの資料とを関連づけて表示するための機能改修を進める。

(3) 基本システムの運営・管理

第6期に引き続き、レンタルサーバ、Web制作会社でのバックアップ、高精細画像の複数箇所でのデータ保管を行う。

(4) DAAS の広報・実空間展示等の企画立案

各団体の全国大会や、社会起業家支援施設での展示、デモンストレーションを行う。また、デジタルアーカイブスの方向性や連携についての議論の場として、講演会などを企画する。実施にあたっては教育や文化的事業を支援する団体への助成金の申請も検討する。

(5) 法人化の準備

引き続き一般社団を目指し内部規定と事務局体制の整備を進める。

(6) 会員向けサービスの強化

会員のアーカイブへの希望や一般閲覧者のDAASに対する意見など、Webサイトの意見集約ページを活用しリサーチを行う。その結果を今後の事業方針に反映させていく。

(7) 新事業の検討

第6期にヒアリングを行った図書館、他業種のアーカイブ整備などについて、DAASのシステムを利用したデータベース構築や展示等を事業として提供できるかどうか、試行を行う。具体的な提案としては、美術館、図書館での企画展示に於いてDAASの検索システムを利用した映像の企画展示や、他アーカイブのデータベース構築時の協力支援などが考えられる。

(8) その他

その他、DAASの目的に資する活動を実施する。

以 上

第7期(2012-2013年度) 収支予算(案)

2012年10月1日から 2013年9月30日まで

(単位:円)

科目	予算額	
I. 事業活動収支の部		
事業活動収入		
1. 会費・入会金収入	8,570,000	
企業会員	6,540,000	企業会員19
団体会員	2,000,000	団体会員10
学術・教育機関会員	30,000	学術会員1
個人会員	0	
2. 事業収入	50,000	
助成事業	0	
コンテンツ有償利用料	50,000	
3. その他収入	0	
受取利息	0	
雑収入	0	
事業活動収入計	8,620,000	
事業活動支出		
1. 事業費支出	5,800,000	
WEBサイト改修委託支出	1,500,000	
イベント事業支出	1,000,000	
コンテンツ整備事業支出	2,000,000	
サーバ管理委託費	1,000,000	
助成事業	0	
保守費支出	300,000	
2. 管理費支出	5,580,000	
事務所経費	350,000	
人件費	4,100,000	
旅費交通費支出	100,000	
機材費支出	150,000	
通信運搬費支出	200,000	
渉外費支出	50,000	
会議費(含総会)支出	150,000	
租税公課支出	80,000	
会計士外部委託費支出	300,000	
雑費支出	100,000	
事業活動支出計	11,380,000	
事業活動収支差額	▲ 2,760,000	
II. 投資活動収支の部		
投資活動収入		
修繕引当預金取崩収入		
投資活動収入計	0	
投資活動支出		
修繕引当預金取得支出		
投資活動支出計	0	
投資活動収支差額	0	
III. 財務活動収支の部		
財務活動収支差額	0	
IV. 予備費支出		
予備費支出	440,000	
当期収支差額	▲ 3,200,000	
前期繰越収支差額	3,200,000	
次期繰越収支差額	0	

注)この予算書は消費税込みで計算しております

議案3 理事・監事選任の件

資料6 第7期・第8期 理事・監事名簿(案)

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)
第7期・第8期 理事・監事名簿

(順不同 敬称略)

■理事

鈴木 博之 (建築史家)
和田 章 (一般社団法人 日本建築学会 会長)
芦原 太郎 (社団法人 日本建築家協会 会長)
三井所 清典 (公益社団法人 日本建築士会連合会 会長)
松野 仁 (一般財団法人 日本建築センター 理事長)
三栖 邦博 (社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長)
山内 隆司 (社団法人 日本建設業連合会 副会長 建築本部長)
隈 研吾 (建築家)
難波 和彦 (建築家)
古谷 誠章 (建築家)
六角 鬼丈 (建築家)
池原 義郎 (建築家)
岡本 慶一 (株式会社 日建設計 代表取締役社長)
六鹿 正治 (株式会社 日本設計 代表取締役社長)
吉田 信之 (株式会社 新建築社 代表取締役)
能登 義春 (大和ハウス工業株式会社 取締役上席執行役員)

■監事

樋口 武男 (社団法人 住宅生産団体連合会 会長)
浅野 宏 (財団法人 建築技術教育普及センター 理事長)

報 告

資料7 会員の変更について

資料8 規約第7条第4項に基づく指定代表者の
変更について

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)
 会員名簿

(順不同 敬称略)

榎 文彦 (建築家)
 鈴木 博之 (建築史家)
 隈 研吾 (建築家)
 六角 鬼丈 (建築家)
 難波 和彦 (建築家)
 古谷 誠章 (建築家)
 池原 義郎 (建築家)
 和田 章 (一般社団法人 日本建築学会 会長)
 三井所 清典 (公益社団法人 日本建築士会連合会 会長)
 三栖 邦博 (社団法人 日本建築士事務所協会連合会 会長)
 芦原 太郎 (社団法人 日本建築家協会 会長)
 山内 隆司 (社団法人 日本建設業連合会 副会長 建築本部長)
 樋口 武男 (社団法人 住宅生産団体連合会 会長)
 松野 仁 (一般財団法人 日本建築センター 理事長)
 那珂 正 (財団法人 ベターリビング 理事長)
 吉田 信之 (株式会社 新建築社 代表取締役)
 村重 芳雄 (五洋建設株式会社 取締役社長)
 山口 俊男 (株式会社 奥村組 取締役専務執行役員)
 六鹿 正治 (株式会社 日本設計 代表取締役社長)
 大田 弘 (株式会社 熊谷組 取締役社長)
 成川 哲夫 (興和不動産株式会社 代表取締役社長)
 永尾 眞 (前田建設工業株式会社 取締役専務執行役員 建築事業本部長)
 割田 正雄 (清水建設株式会社 常務執行役員 設計・プロポーザル統括)
 平林 文明 (積水ハウス株式会社 取締役専務執行役員)
 野呂 一幸 (大成建設株式会社 常務・設計本部長)
 北 泰幸 (株式会社 竹中工務店 常務取締役)
 岡本 慶一 (株式会社 日建設計 代表取締役社長)
 小林 照雄 (株式会社 大林組 常務執行役員 本社 設計本部長)
 尾崎 勝 (鹿島建設株式会社 専務執行役員 建築設計本部長)
 副島 伸一 (住友不動産株式会社 ビル管理部長)
 合場 直人 (三菱地所株式会社 常務執行役員)
 田中 孝典 (株式会社 山下設計 代表取締役社長)
 大江 功一 (三井不動産株式会社 建設企画部長)
 碓氷 辰男 (東京建物株式会社 代表取締役専務取締役 ビル事業本部長)
 村井 純 (慶應義塾大学 環境情報学部長 教授)
 馬場 栄一 (株式会社 建築資料研究社 代表取締役)
 能登 義春 (大和ハウス工業株式会社 取締役上席執行役員)
 金箱 温春 (一般社団法人 日本建築構造技術者協会 会長)
 浅野 宏 (財団法人 建築技術教育普及センター 理事長)
 川瀬 貴晴 (社団法人 建築設備技術者協会 会長)

2012年9月改訂

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム (DAAS)

法人会員指定代表者変更

(建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム規約 第7条第4項 関係)

(敬称略)

■ 団体会員

公益社団法人 日本建築士会連合会 (旧 社団法人日本建築士会連合会)

〈変更前〉 藤本 昌也 (会長)

〈変更後〉 三井所 清典 (会長)

■ 企業会員

鹿島建設株式会社

〈変更前〉 尾崎 勝 (常務執行役員 建築設計本部長)

〈変更後〉 尾崎 勝 (専務執行役員 建築設計本部長)

株式会社 大林組

〈変更前〉 小林 照雄 (常務執行役員 東京本社 設計本部長)

〈変更後〉 小林 照雄 (常務執行役員 本社 設計本部長)

2012年10月1日付